

シモキサニル・T P N水和剤 ブリザード水和剤	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： デュポン、エス・ディー・エス
成分： シモキサニル〔シアノアセトアミド系 PRTR・1種〕…24.0% T P N〔有機塩素系 PRTR・1種〕……………60.0% その他 PRTR 該当成分： ドデシル硫酸ナトリウム〔PRTR・1種〕……………1.8%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 広範囲な抗菌スペクトルを持つT P Nと感染直後の治療効果を有するシモキサニルとの複合剤で、疫病・べと病に対して優れた効果を示す。
- 浸透性があり、降雨等の影響を受けにくく安定した防除効果が得られる。
- 疫病菌・べと病菌生活史のあらゆるステージに作用する。
- 耐性菌発生の可能性が低い。
- 既存薬剤の耐性菌に対しても有効である。
- 適用作物に対して薬害のない安全な薬剤。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 発病が予想される時期（重点防除時期）に連続散布する。
- 病状が進んでからの防除では効果が上がりにくくなるので、予防的に使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤、ニテンピラム水溶剤、水酸化第二銅剤及びボルドー液等アルカリ性農薬との混用はさける。

- ばれいしよに希釈250倍で散布する場合、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節する。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 夏期高温時の使用はさける。
- 適用作物（はくさい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 薬液タンクの洗浄廃液は放置せず、速やかに安全な場所に処理する。
- 粉末は眼に対して強い刺激性がある。
- 粉末は皮膚に対して強い刺激性がある。
- カブレやすい体質の人は作業には従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	シモキサニルを含む 農薬の総使用回数	T P Nを含む農 薬の総使用回数		
ばれいしょ	夏疫病	800 ～ 1000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内	5 回以内		
	灰色かび病	1000 倍								
	疫病	800 ～ 1500 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回以内		3 回以内	6 回以内 (土壌灌注は 2 回以内, 散布 及びくん煙及 びエアゾル剤 の噴射は合計 4回以内)		
250 倍										
ト マ ト	1200 ～ 2000 倍	1200 倍								
	葉かび病 すすかび病									
きゅうり	べと病	1500 ～ 2000 倍							1500 倍	
	うどんこ病 褐斑病 炭疽病									
はくさい	べと病	2000 倍		14 日前まで	2 回以内				3 回以内 (はくさいは定植 前の土壌混和は 1 回以内, 散布 は 2 回以内)	
				メ ロ ン	3 日前まで					5 回以内
あ ず き	茎疫病	800 倍		14 日前まで	3 回以内				3 回以内 (種子処理は 1 回以内)	
な す	すすかび病 うどんこ病	1500 倍		前日まで					4 回以内	
だ い ず	茎疫病	1000 倍		21 日前まで	2 回以内				2 回以内	
たまねぎ	べと病 灰色かび病 白色疫病	1200 倍		7 日前まで	3 回以内				6 回以内	
た ば こ	うどんこ病 疫病		100 ～ 180 ℓ				10 日前まで	2 回以内		2 回以内